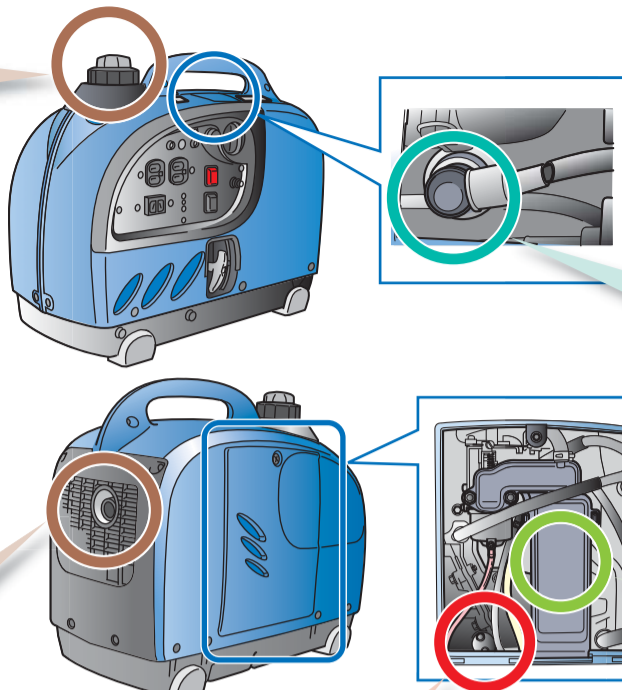


* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

定期点検は非常に大切です。ヤマハ発電機サービス店にご用命ください。

燃料タンクストレーナの清掃

- 1 エンジン停止
- 2 燃料タンクストレーナの清掃
燃料タンクキャップ
ストレーナ
ガソリン
- 3 ストレーナを拭き、元の位置に戻し、燃料タンクキャップを取り付ける



マフラーワイヤネットの清掃

- 1 スクリューを外し、カバーを外す
- 2 ブラシでこする
- 3 ブラシでこする
スパークアレスター

エンジンオイルの交換

- 1 2~3分暖機運転後エンジン停止
- 2 スクリューをゆるめて、カバーを取り外す。
- 3 オイルプラグをゆるめて、オイルフィラを下方に押し取り出す
- 4 オイルフィラを注入口に取り付けエンジンオイルを抜く
- 5 注入口の口元まで規定量給油
- 6 オイルプラグを締め付け、オイルフィラを取りつける

エンジンオイル
容量：320mL
グレード：API分類SE級以上のエンジンオイル (SAE10W-30または10W-40)

※発電機本体を水平に置いた状態です。

オイル規定量
エンジンオイル 320mL
ココまで入れる

オイルプラグ

スパークプラグの点検・清掃

- 1 エンジン停止
- 2 カバーを開け、スパークプラグキャップを外す
- 3 同梱のツールを使いスパークプラグを外す
- 4 スパークプラグの点検
キツネ色→OK
白/黒→NG
→エアクリーナ点検
※汚れを落とす
0.6~0.7mm
- 5 スパークプラグを取り付ける
指でいっぱい締める
トルクレンチ = 15N・m~20N・m
1/4~1/2回転レンチで締める
- 6 スパークプラグキャップを取り付け、カバーを閉じる
必ず指定品(NGK-CR4HSB)を使用してください。

エアクリーナエレメントの点検・清掃

- 1 エンジン停止後エアクリーナカバーを固定しているスクリューを外す
- 2 エレメントを外す
- 3 きれいな白灯油で洗浄しエンジンオイル等にひたす
- 4 余分なオイルを取り除きエアクリーナ本体に戻す

長期保管手順

要 点 使用後、または定期運転後次の使用が3ヶ月以降になる場合は、1~12の作業を行なって保管し、次に使用する時に備えてください。排出する燃料を受け取る容器を用意してください。

* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

1 エンジンスイッチをSTOP(停止)の位置にしてエンジンを停止します。

2 燃料タンクキャップ、燃料タンクストレーナを外します。市販の給油ポンプを利用して燃料タンク内の燃料(無鉛ガソリン)を抜きます。

警告

- こぼれた燃料はただちに布きれ等で完全にふき取ってください。
- 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。

3 エンジンスイッチをON(運転)の位置にします。

4 燃料コックをOFF(閉)からON(開)にします。

5 燃料給油キャップつまみを左方向に1回転回します。

6 リコイルスタータハンドルを引いてエンジンを始動します。数分後にエンジンは「ガス欠状態」で停止します。

要 点

- エコノミースイッチはOFF(解除)にしてください。
- 電気器具は接続しないでください。(無負荷運転)
- 燃料タンク内の燃料残量によって「ガス欠状態」になるまでの時間は変わります。

7 ボルトをゆるめて、カバーを取り外します。

8 キャブレタのドレンパイプを容器に受け、キャブレタのドレンスクリューをドライバ⊕でゆるめて燃料を抜きます。

要 点

- キャブレタ内のガソリンを抜かずに長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。

9 ドレンスクリューを締め付けます。

10 エンジンスイッチをSTOP(停止)の位置、燃料コックをOFF(閉)にします。

11 燃料タンクキャップを確実に締め付け、燃料給油キャップつまみを右方向に止まるまで回します。

12 カバーを取り付けて、ボルトを締め付けます。